

おだわら市民交流センターUMECO実施事業計画（令和6年度）

No	事業名	機能	コンセプト	目指す姿	実施内容 (計画)	指標	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
1	UMECO企画展	拠点	きっかけ	市民活動団体が活動に関する様々な企画展示を行うことで、市民活動及び団体に対する市民の関心が高まり、活動を始めたり応援したりする人が増える。	年間を通じ、多目的コーナーやホワイエを利用し、登録団体の活動に係る展示を行う。展示期間は1団体あたり原則2週間程度とする。	【コンセプト面】 来場者へのアンケート「団体（活動）への関心増」 【機能面】 参加団体数	36団体	30団体
2	アクティブサロン	拠点	きっかけ	企画展では活動内容等を発表することが出来ない団体に、体験の場等提供することで、市民活動及び団体に対する市民の関心が高まり、活動を始めたり応援したりする人が増える。	活動エリアを利用し、サロン形式やイベント形式での活動紹介等、多様な形で開催する。月1回（1日または2日間）の開催とする。	【コンセプト面】 来場者へのアンケート「団体（活動）への関心増」 【機能面】 参加団体数	14団体	12団体
3	団体登録	拠点	行動	市民が思いを行動に移せるよう、新たな団体登録、年ごとの登録更新（6月末）を促進し、UMECOを団体の情報発信の場、又は活動の拠点とする。	活動実績等を把握し、的確な申請受付を実施。更新に際しては、オンラインでの受付を推奨することで手続きの軽減化を図る（従来通りの受付方法も継続する）。	【コンセプト面】 新規登録団体数 【機能面】 登録団体数	400	400
4	相談業務	相談支援	実現	法人化や市民活動（ボランティア含む）全般に関する相談、他団体との連携にかかる相談等を受けることで、市民活動が発展する。	相談日を設け相談員を配置するとともに、簡単な相談は随時受け付ける。スタッフのスキルの向上（研修等による）を図る。	【コンセプト面】 相談解決割合 【機能面】 相談件数	88	100
5	市民活動団体への資金面への支援	相談支援	実現	運営のため、事業実施のための資金調達は重要課題であり、資金確保に係る支援を行うことで、市民活動を活性化させる。	市民活動・協働応援制度補助金に係る業務（応募受付・事業視察）や資金支援に係る情報提供を行う。	【コンセプト面】 補助金応募件数 【機能面】 助成金情報のHP更新回数	17	17
6	企業とのネットワーク	協働支援	実現	市民活動団体と企業との協働により、団体の様々な活動を紹介する。また、企業との連携による社会貢献に向けての活動を創出することで活動の場が広がる。	実績のある「フレスポ小田原シティーモール」でのパフォーマンス主体の事業を継続する。市内の企業等を中心に、地域活性化等に関する事業連携を推進する。	【コンセプト面】 団体と企業の連携事例数 【機能面】 フェスティバル開催数	3回	3回
7	地域とのネットワーク	協働支援	実現	地域の各種団体と市民活動団体との連携を促進することで、地域課題を解決する。	地域のニーズを把握するための情報収集により、また登録団体の一覧を掲載した情報紙（Hello!UMECO）の改定版を発行する事で、団体とのマッチングの機会を広める。	【コンセプト面】 事業報告中のアンケート「地域の困りごとが解決した割合」 【機能面】 マッチング回数		50%
8	パートナーシップミーティング	協働支援	実現	イベントに参加した市民活動団体が、他の参加者との連携を通じて活動を発展させ、地域の課題解決に貢献している。	市民活動団体、学校、企業を中心としたマッチングの機会を創出するイベント（事例発表、グループワーク等）を、神奈川県と共催で実施する。協働のさらなる促進に向けて、県西部の自治体の協力を得る。	【コンセプト面】 マッチング成立件数 【機能面】 参加者数		
9	市民活動入門講座	学習・体験	きっかけ	市民の方々が生きがいを持ち、生き生きとした社会生活ができるよう市民活動参加へのきっかけ作りをする。また、若い世代の人たちに市民活動について学んでもらう機会を提供することで関心が高まる。	市民活動の基本的な内容や、市民活動の楽しさを知ってもらえるような講座を開催する。また、市内の大学や高校等へ積極的に働きかけ、市民活動について広く周知し啓発するための講座を開催する。	【コンセプト面】 受講者へのアンケート「活動を始めた人の割合」 【機能面】 入門講座開催数	3回	3回

No	事業名	機能	コンセプト	目指す姿	実施内容 (計画)	指標	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
10	夏休みボランティア体験学習	学習・体験	きっかけ	中高生を中心に、夏休みに合わせてボランティア体験の機会を提供し、社会にどのような貢献ができるかという「ボランティア精神の芽生え」のきっかけとなる。	誰でも参加できるボランティア体験機会を提供するため、体験の受け入れができる登録団体を募集し、受入団体と生徒等との橋渡しをする。多くの市民活動団体に積極的な参加を募る。また、学校側の協力を得られるよう働きかけを行う。	【コンセプト面】 ボランティア活動への関心度増 【機能面】 夏休みボランティア参加者数	115人	150人
11	団体向け各種講座	学習・体験	行動	市民活動団体の活動を広く支援するための各種講座の開催により、団体が成長する。	団体の活動発展に向け、ニーズに対応した講座（デジタル化、協働、資金確保等）を開催する。	【コンセプト面】 受講者の満足度 【機能面】 1講座当たり受講者数	9人	50% 10人
12	若者の市民活動参加の支援	学習・体験	きっかけ	学生や若者のボランティア活動を支援することで、若い世代の活動への参加を促進する。	既存の学生ボランティアグループに関し、近隣の学校や各事業参加者への働きかけ、ホームページ等の広報を強化するとともに、グループ運営へのサポートを強化する。また、インターンシップを積極的に受け入れる。	【コンセプト面】 グループの会員数 【機能面】 グループのイベント回数		
13	男女共同参画の推進	学習・体験	きっかけ	市や市民活動団体等と連携して男女共同参画を推進することで、男女が、社会の対等な構成員として自らの意志によって、社会のあらゆる分野において活動に参画できる機会を確保する。	小田原市が進める「男女共同参画プラン」を参考に、市民活動団体をはじめ、市民全般への意識向上を推進するため、企画展等を開催する。	【コンセプト面】 参加者アンケート「男女共同参画への関心増」 【機能面】 イベント回数	3回	50% 3回
14	UMECO祭り	交流・コーディネート	きっかけ	UMECO全館を利用し、市民にUMECOや市民活動について知って頂き、市民活動参加へのきっかけとする。また、市民活動団体相互の交流を行う事で、他の活動への関心を高め協働へのきっかけとする。	登録団体有志による実行委員会での検討を経て、11月下旬に登録団体が様々な企画（活動発表・作品展示・パフォーマンス等）により活動紹介を行い、活動内容を多くの市民に知ってもらう。また、参加団体同士の交流をすすめる。	【コンセプト面】 事業の満足割合（アンケート） 【機能面】 来館者人数	2500人	50% 2500人
15	団体交流会	交流・コーディネート	行動	イベントに参加した市民活動団体が、特定のテーマに沿った交流を通じ、他の参加者と思いを共有し、活動を発展させる手掛かりを得る。	同じ分野で活動する団体間や、分野・業種を超えた交流会を開催する。開催にあたっては、活発な交流を促すためテーマ設定を工夫するとともに、テーマに応じた層へのPRを図る。	【コンセプト面】 他団体とのつながりができた割合 【機能面】 参加者数		50%
16	国際交流	交流・コーディネート	行動	市の担当部署との連携も視野に、海外の文化の発信や外国籍の方たちとの交流を推進する。	外国籍の方同士や登録団体との交流の場を開催する。	【コンセプト面】 参加団体の満足度 【機能面】 イベント開催回数		50% 1回
17	情報発信	情報の集約・発信	きっかけ 行動	さまざまな活動情報を集約し、情報誌発行やインターネットツールを活用して、UMECOや市民活動の情報を発信することで、一般市民等は市民活動に参加するきっかけを、市民活動団体は活動を発展させる手掛かりを得る。	①情報誌（UMECOだより/つながらる）の定期発行 ②ホームページの運用 ③FMおだわらの活用 ④新たな情報発信メディアへの展開 ⑤ホームページの改修	【コンセプト面】 ホームページ・フェイスブックの閲覧調査 【機能面】 ①情報誌の発行 ③FMおだわら出演団体数	6回/年 40団体	50% (回収数に対し) 6回/年 40団体

※本資料における「令和5年度実績」は、令和6年2月15日現在のものです。